

授業科目 文学

【担当教員名】 若月 忠信	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・体育・社会・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>  
文学のおもしろさ、楽しさを確認する。

<学習目標>  
講師の文学作品を読む方法論は“現場主義”とか“足で読む文学”とか“行動する文学”などを名づけて実践している。  
例えば宮本輝の「蜚河」を読んで新潟田市郊外の赤谷地区へ蜚を見に行く。  
三浦 綾子の「塩狩峠」で北海道旭川の塩狩峠へ出かける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	新潟市出身の作家 坂口安吾の生誕百年にあたるので、「桜の森の満開の下」 「白痴」などを読む。		
2	芥川賞の作品を（新旧）を読んで自分以外の人間の存在や行き方を確認して 人生の哀歎にふれる。		
3	近現代文学（主に短編）の作品を読んで、友達と語り合う。		
4	夏休みを利用して、希望者と文学の旅（北海道、東京、奈良、京都、パリ）を計画する。		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	講師がプリントして持参する。			

【評価方法】 出席と期末試験	【履修上の留意点】 文学の現場（新潟市内の文学館、文学碑など）へ出かける事も単位認定の条件となる。
-------------------	--